

バドミントン

スペシャルオリンピックスのバドミントン公式スポーツルールは、全てのスペシャルオリンピックスバドミントン競技において適用される。国際的なスポーツプログラムとして、スペシャルオリンピックス（SO）は国際バドミントン連盟（BWF）のルール（参照：<http://www.internationalbadminton.org/statues.asp>）を基に、スペシャルオリンピックス公式スポーツルールを定めた。スペシャルオリンピックスのバドミントン公式スポーツルールおよびスポーツルール総則第1章と矛盾する場合以外はBWFあるいは国内バドミントン協会（NGB）のルールが採用される。矛盾する場合は、スペシャルオリンピックスのバドミントン公式スポーツルールが適用される。

セクション A - 公式種目

以下はスペシャルオリンピックスにおける公式種目の一覧である。

これらの種目は、あらゆる競技能力のアスリートに競技する機会を提供することを目的としている。各国プログラムは提供する種目、および必要に応じて、それら種目の運営方針を決定することができる。コーチは、それぞれのアスリートの技術と興味に応じて、適切なトレーニングの提供と種目を選択することに責任がある。

1. 個人技能競技
2. シングルス
3. ダブルス
4. ユニファイドスポーツ® ダブルス
5. ミックスダブルス
6. ユニファイドスポーツ® ミックスダブルス

セクション B - 競技ルール

1. 適応ルール

- a. 車椅子を使用しているアスリートは、左右のどちらのサービスエリアからでも、オーバーヘッドサービスを使う選択権を有する。
- b. 車椅子を使用しているアスリートのサービスエリアは、通常のサービスエリア（ネットとショートサービスラインまでの距離）の半分の距離とする。

2. ユニファイドスポーツ® ダブルス

- a. 各ユニファイドスポーツ® ダブルスチームは、アスリート1名とパートナー1名からなる。
- b. 各チームで、それぞれのサービスの順番とコートでの位置を決めることができる。（アドバンテージ時またはデユース時）

3. 個人技能競技

a. ハンドフィーディング

- 1) フィーダー（シャトルを出す人：通常はコーチ）は、一度に 5 個のシャトルを手に持ち、そのシャトルをダーツのように、1 個ずつアスリートへ向けて投げる。
- 2) アスリートは飛んできたシャトルをラケットで打ち、1 回打つごとに 1 ポイントとする。

b. ラケットフィーディング（オーバーヘッドストローク用）

- 1) フィーダーは、一回の試技につき 5 個のシャトルを持ち、1 個ずつアスリートに向けてアンダーストロークを使い、高くシャトルを打ち上げる。
- 2) シャトルを 1 回打つごとに 1 ポイントとする。
- 3) アスリートがシャトルを打てなかった場合、あるいは打てた場合、すぐに次のシャトルが投げられカウントを続ける。

c. “UPs” コンテスト

- 1) アスリートは、シャトルを繰り返し空中へ向けて打つ。
- 2) 30 秒の間で、1 回打ち上げるごとに 1 ポイントとする。
- 3) シャトルが地面に落ちた場合は、別のシャトルを与え、カウントを続ける。

d. フォアハンドストローク

- 1) アスリートは、ネットから 2ft（約 70cm）離れたところに立つ。
フィーダーはネットの反対側に立つ。
- 2) フィーダーはアンダーハンドサーブで、アスリートのフォアハンド側へシャトルを打つ。
- 3) アスリートは、5 回打つことができ、フォアハンドストロークでネットを越えて反対側のコートにうまく打ち返せた場合、1 ポイントが与えられる。

e. バックハンドストローク

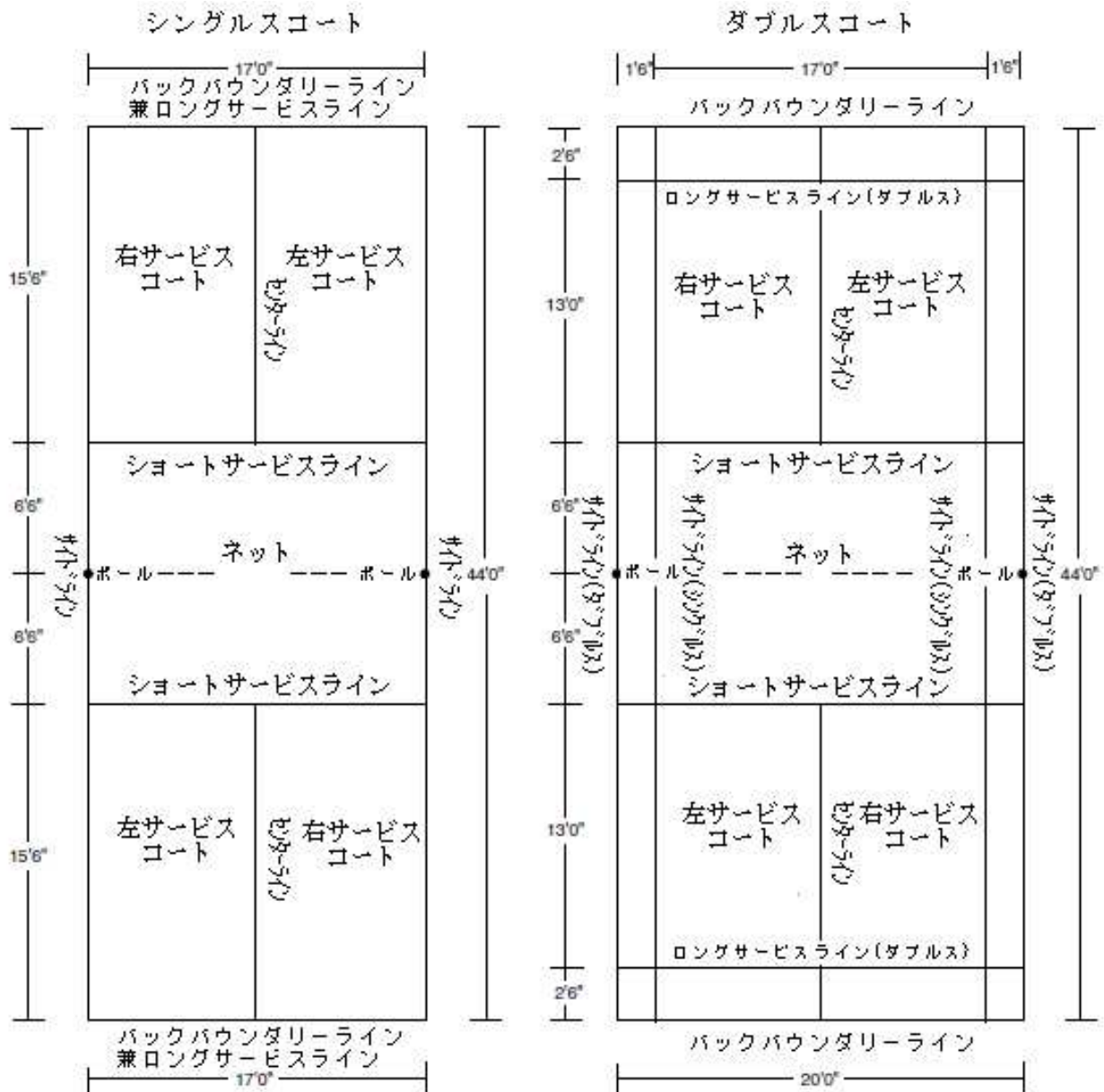
- 1) フィーダーがアスリートのバックサイド側へシャトルを打つこと以外は、アスリートへのシャトルの出し方および得点基準は、フォアハンドストロークの要領が適用される。

f. サービス

- 1) アスリートは、どちらか一方のサービスコートから 5 回のサービスを行う。
- 2) アンダーハンドサービスを打つことができなければ、オーバーハンドサービスを行ってもよい。
- 3) サービスが正しいサービスボックス内に入るごとに、10 ポイントとする。
- 4) サービスがサービスボックスから外れた場合は、0 ポイントとする。

g. 最終成績

- 1) 最終得点は 6 つの個人技能競技それぞれのスコアの合計により決められる。



<スペシャルオリンピックスのスポーツプログラムを実施するに当たっての留意点>

スペシャルオリンピックスの正式なスポーツプログラムとして活動する場合には、事前に最寄りの地区組織事務局、又はスペシャルオリンピックス日本事務局にご連絡ください。